

【CRN国際共同研究】 子どもの生活に関する アジア8か国調査2021

結果報告



https://www.blog.crn.or.jp/crna-research-activities.html

このレポートの目的と内容



目的

- ① コロナ禍でのレジリエンスの重要性や、子どものレジリエンスを向上 させる保護者や園の関わり方についての示唆を得る
- ② アジア8か国での比較を通して、日本の子どもや子育ての特徴を捉えるとともに、日本の子育て課題をあぶり出す一助とする

内容

- 1. 調査研究概要
- 2. レジリエンスの重要性(ウェルビーイングとの関連)と 子どものレジリエンスを育むためのカギ
- 3.アジア8か国比較を通して見える日本の子どもや子育ての特徴

Appendix:基本属性

主な結果



本研究のカギとなる概念

=レジリエンス:困難な状況に適応して回復する力

1) レジリエンスの重要性と、子どものレジリエンスを育むためのカギ

- ●コロナ禍での子どものウェルビーイングにはレジリエンスの育成が重要 8か国共通で、子どものレジリエンスはウェルビーイングに関連していた
- ●子どものレジリエンス向上には、家庭(保護者)と園(保育者)の両輪でのサポートが 重要

家庭や園において実践すると良い具体的な働きかけ項目も判明

2) アジア8か国比較を通して見える日本の子どもや子育ての特徴

- ●日本は他国と比べて、親の意識や日常生活面での5歳、7歳の違いが大きい
 - ・数や文字を学ぶこと:5歳母は重視しない⇒7歳母は重視
 - ・園/学校による保護者サポート:5歳(園)はある⇒7歳(学校)は他国より少ない
 - ・遊び相手としての親:5歳ではよく遊ぶ⇒7歳ではあまり遊ばない
 - ・デジタルメディア学習使用:5歳で少ない⇒7歳で使用率は上がるが他国よりは少ない
 - ・習い事:5歳で少ない方⇒7歳で多い方
- ●日本についてのその他の結果
 - ・「友だちと一緒に遊ぶ」「伝統や文化を大切にすること」を、他国ほど重視しない
 - ・平日の「屋外で遊ぶ時間」「家庭学習の時間」「家庭でのスマホやタブレットの視聴・使用時間」が、 他国より短い
 - ・デジタルメディアを多用途で使わない。またデジタルメディア使用時の親の関わりが、他国と比べて 少ない傾向



1. 調查研究概要

1-1 本調査研究の概要



背景

コロナ禍により子どものメンタルヘルスに問題が生じており、子どものウェルビーイングの脅威となっていることが明らかになっている。そこで**コロナ禍のような予測不可能な困難の中においても子どものウェルビーイングを達成できるよう、「レジリエンス(困難な状況に適応して回復する力**)」**に着目した調査を企画**

本調査研究の目的

コロナ禍の中においても"ハッピー&レジリエント(Happy and Resilient)"な子どもを育むための環境のあり方を、家庭、園・学校、国・地域社会の3つの環境側面から明らかにすること

調査概要

調査対象:5歳(園児)または7歳(小学生)の子どもがいる母親

<u>参加国:日本、中国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、</u>

<u>タイ</u> (アジア8か国でCRNと協力関係にある研究者と共同で実施)

有効回答数:5歳(園児)の母親 1,973名(全8か国)

7歳(小学生)の母親1,372名(中国、シンガポールを除く6か国)

調査方法:アンケート調査(オンライン/質問紙)

調査時期:2021年8月~11月

※ 国際比較を想定し、対象者の属性が各国でなるべく揃うよう配慮。「都市部および近郊に住む中流層」 と指定。本資料内の分析にあたっては、回収されたローデータをそのまま使用している

1-2 8か国における調査の概要



参加国	日本			中国			フィリピン				マレーシア					
調査時期	2021年9月-11月			2021年9月			2021年8月-9月				2021年9月					
調査方法	オンライン/質問紙			オンライン				オンライン				オンライン				
有効	5歳児の 母親			歳児の 母親		児の 親			5歳児の 母親		7歳児の 母親		5歳児の 母親		7歳児の 母親	
回答数	246		114		264		0		218		202		250		250	
*子どもの 性別	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児
(%)	45.1	54.9	50.9	48.2	52.3	47.7	_	-	46.3	53.2	47.0	53.0	47.2	52.8	50.4	49.6

参加国	台湾				インドネシア				シンガポール				タイ			
調査時期	2021年9月				2021年9月			2021年9月-11月				2021年10月				
調査方法	質問紙			オンライン			オンライン/質問紙				オンライン					
有効	5歳児の 母親		7歳児の 母親		5歳児の 母親		7歳児の 母親		5歳児の 母親		7歳児の 母親		5歳児の 母親		7歳児の 母親	
回答数	260		251		416		335		136		0		183		220	
*子どもの	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児	男児	女児
性別 (%)	48.8	50.0	50.2	49.0	50.0	50.0	51.6	47.8	50.7	49.3		_	50.8	49.2	51.8	48.2

^{*}子どもの性別をたずねる質問については無回答があった。

1-3 用語の定義と尺度



■ ウェルビーイング:

心身の良好な状態、幸福。

■本調査で使用したウェルビーイングの尺度:

本調査では、QOL (Quality of Life = 生活の質)を広く測定できるように開発されたKINDL尺度 (Ravens-Sieberer & Bullinger開発)を使用。「身体的QOL」「心理的 QOL」「自尊感情」「家族関係の QOL」「友達関係の QOL」「日常機能(学校や園)」の全24項目により構成される。5件法を用い、最低得点は24点、最高得点は120点。

□レジリエンス:

困難な状況に適応して回復する力。

■本調査で使用したレジリエンスの尺度:

PMK-CYRM-R尺度(カナダのResilience Research Centre開発)を使用。「子ども個人に関わる項目」と「養育者等に関わる項目」の全17項目により構成される。

5件法を用い、最低得点は17点、最高得点は85点。

1-4 レジリエンスについて



■ レジリエンスとは、困難な状況に適応して回復する力のこと

立ち直り力、精神的回復力、しなやかな強さ、折れない心、などの表現もなされる。 「心の強さ」には下記2種類ある。

- 「どんな逆境も跳ね返す屈強な抵抗力、ストレスの影響を受けない」→ハーディネス
- ・「逆境にあってもストレスを受けても柔軟な心持ちで対応し立ち直る」→レジリエンス 本研究はハーディネスではなくレジリエンスに着目して実施した。

■ レジリエンスには、主に2つの側面がある

- ・逆境において:災害や病気からの回復、立ち直り
- ・日常において:日々降りかかる苦境やストレスからの回復、立ち直り

日本においてレジリエンスが注目されたきっかけ ※いずれも2011年

- ・教育の文脈において、OECDのPISA調査で「レジリエントな生徒(社会経済的背景が低いにもかかわらず良い成績をあげる生徒のこと)」という言い方がなされたこと。
- ・東日本大震災以後の災害復興の文脈で、「レジリエンス」という言葉が広く一般に用いられる ようになった。
- ■レジリエンスはOECDの "Educating 21st Century Children (21世紀の子どもたちの教育)"の中で、21世紀を生き抜くために必要なスキルとして、社会情動的スキルやデジタルリテラシーと同列で語られている。

Educating 21st Century Children Emotional Well-being in the Digital Age (OECD's Centre for Educational Research and Innovation, Oct. 1, 2019) https://www.oecd-ilibrary.org/education/educating-21st-century-children b7f33425-en

1-5 質問項目一覧の構成



●基本属性

Q2 子どもの基礎情報

Q3 登園登校状況

Q5 学校の成績

Q21-① 家庭の基礎情報

●コロナに関わる状況

Q1 コロナに関わる状況、 母親のコロナ意識・不安感

●子どものレジリエンス・ウェルビーイングの状況

Q6 子どものレジリエンス

Q7 子どものウェルビーイング

●子どもを取り巻く環境<母親の養育態度・意識>

Q8 母親の養育態度

Q16 母親の子育て意識

Q17 母親が子育てで力を入れていること

Q20 母親の生活満足度

●子どもを取り巻く環境 < 子育てサポート >

Q4 保育・教育(によるサポート)の状況

Q18 家族(お手伝いさん等含む)との 家事育児分担

Q19 配偶者と子どもの関係、夫婦関係

Q21-② 子育て支援者

●子どもを取り巻く環境<子どもの日常生活・遊び・デジタルメディア活用>

Q9 子どものデジタルメディア活用実態

Q10 子どものデジタルメディア活用時の保護者の関わり

Q11 子どものICT活用に対する母親の抵抗感のコロナ禍前後での変化

Q12 子どもの日常的な時間の使い方:遊び、デジタルメディア活用等

Q13 子どもの日常的な時間の使い方:習い事等

Q14 コロナ禍前後での時間の変化:遊び、デジタルメディア活用時間

Q15 子どもの遊びの状況



 レジリエンスの重要性 (ウェルビーイングとの関連)と 子どものレジリエンスを育む ためのカギ

2章のサマリー



●実施したこと

- ・アジア8か国の5歳・7歳データより、5歳のデータを抽出して分析
- ・さらに日本の状況を明らかにするため、5歳データのうち日本のデータ246件を 抽出して分析

●明らかになったこと

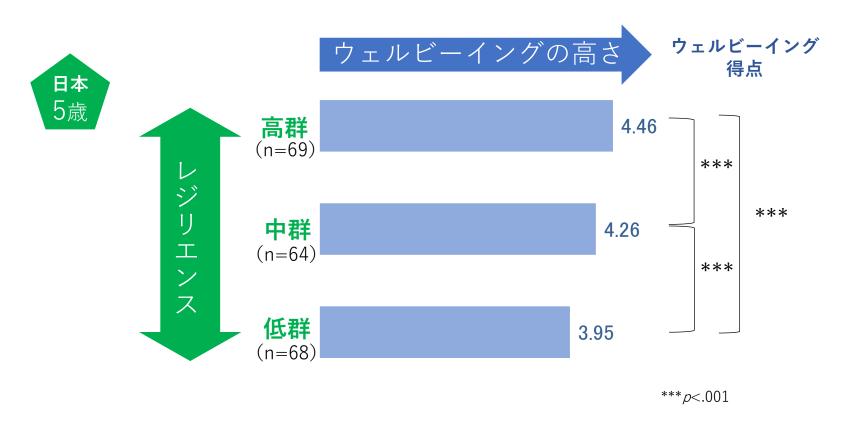
- 1. 子どものウェルビーイングとレジリエンスの関連:8か国共通で、子どものウェルビーイングにレジリエンスが関連している
- 2. 日本では、子どものレジリエンスを育むためのカギとして、 下記が明らかになった。各要因の具体項目も判明した
 - ①レジリエンスの育成に効果的な母親の関わり(1)母親の応答的な養育態度 (2)母親の子育て肯定感 (3)デジタルメディア 使用時の母親のサポート
 - ②レジリエンスの育成に効果的な園(保育者)の関わり 園(保育者)のサポート
 - ③レジリエンスの育成に効果的なその他の要因 遊ぶことができる友達の数
- 3. 日本5歳でレジリエンスの育成に効果的な要因は、他のアジア諸国でも効果的である



子どものウェルビーイングとレジリエンスの関連



- ●8か国共通で、レジリエンスが高い群ほどウェルビーイングが実現できている
- ●下記は日本5歳データの分析結果。8か国共通で同様の結果が出ている



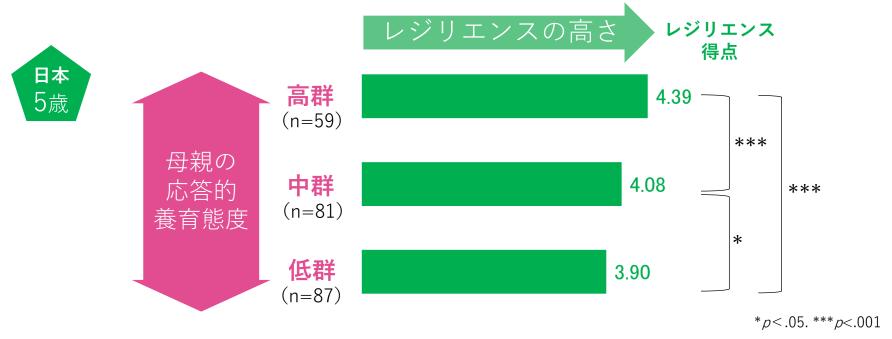
- レジリエンス3群:レジリエンスに関わる17項目(PMK-CYRM-R尺度を使用)を得点化して足しあげ、分布をもとになるべく均等に高群・中群・低群の3群に分割。
- ウェルビーイング得点:ウェルビーイングに関わる24項目(KINDL尺度を使用、「ぜんぜんない」1点~「いつも」5点)を合計して、項目数で割った数値(1~5点に分布)。上記では各群(レジリエンス高中低)の平均点を算出した。



| ② 2-2-① レジリエンスの育成に効果的な母親の関わり(1)



- ●母親の応答的な養育態度度合いが高いほど、子どものレジリエンス得点は高い
- ●下記は日本5歳データの分析結果



子どもの レジリエンス育成に 特に効果的な項目

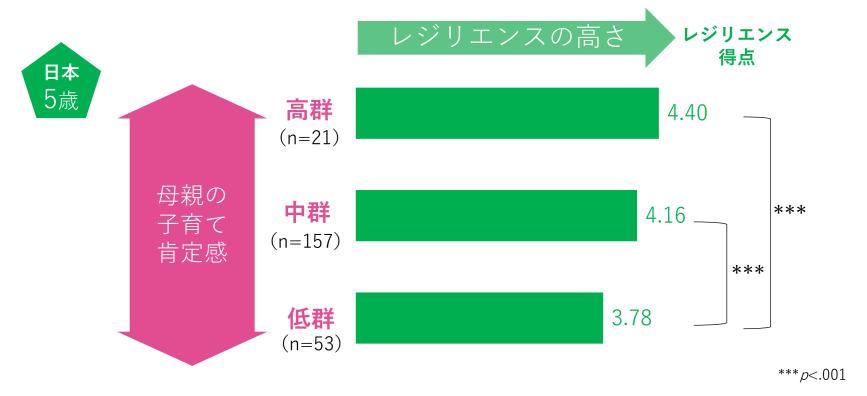
- ✓ 温かく優しい声で話しかける
- ✓ スキンシップをとる
- ✓ 子どもが求めることに応える
- ✓ やりたがることに取り組める環境を用意する
- 応答的な養育態度3群: 「温かく優しい声で話しかける」「スキンシップをとる」「子どもが求めることに応える」「何かうまくできたときに一緒に喜ぶ」「何かをやろうとしているときは手を出さずに最後まで見守る(危ないことは除く)」「やりたがることに取り組める環境を用意する」「興味が広がるような遊びや体験を用意する」の7項目を得点化して足しあげ、分布をもとになるべく均等に高群・中群・低群の3群に分割。
- **レジリエンス得点:**レジリエンスに関わる17項目(PMK-CYRM-R尺度を使用、「まったくあてはまらない」1点〜「とてもあてはまる」5点)を合計して、項目 数で割った数値(1〜5点に分布)。上記では各群(応答的な養育態度高中低)の平均点を算出した。



Q 2-2-① レジリエンスの育成に効果的な母親の関わり(2)



- ●母親の子育て肯定感が高いほど、子どものレジリエンス得点は高い
- ●下記は日本5歳データの分析結果



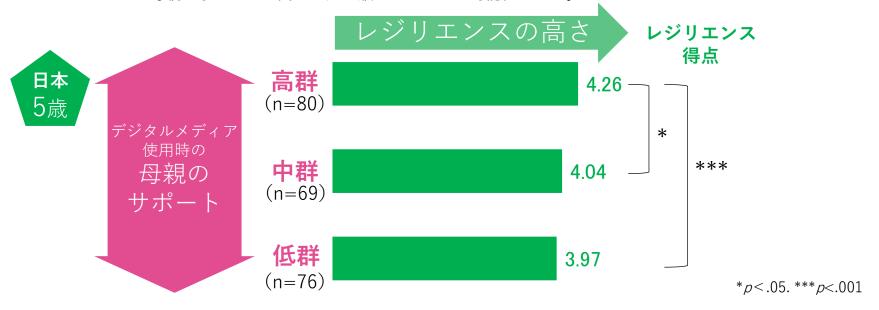
- **子育て肯定感3群:**「自分の子どもは結構うまく育っていると思う」という1項目に対し、「1. とてもあてはまる」を高群、「2. まああてはまる」を中群、 「3. あまりあてはまらない」および「4. まったくあてはまらない」を低群として3群に分割。
- **▶ レジリエンス得点:**レジリエンスに関わる17項目(PMK-CYRM-R尺度を使用、「まったくあてはまらない」1点〜「とてもあてはまる」5点)を合計して、 項目数で割った数値(1〜5点に分布)。上記では各群(母親の子育て肯定感高中低)の平均点を算出した。



Q 2-2-① レジリエンスの育成に効果的な母親の関わり(3)



- ●デジタルメディア使用時の母親のサポート度合いが高いほど、子どものレジリエンス 得点は高い
- ●下記は日本5歳データの分析結果
 - ※ 本設問では「デジタルメディア使用時」に限定してたずねているが、それ以外の場面における 母親の子どもへの関わり方全般にあてはまる可能性がある。



子どもの レジリエンス育成に 特に効果的な項目

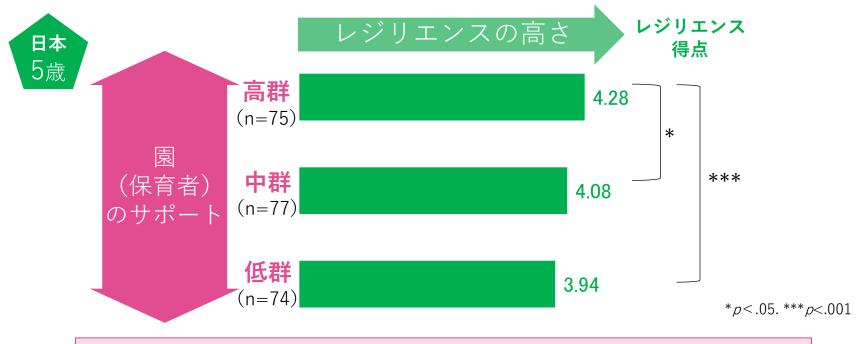
- ✓ 子どもが使用・視聴するものを親が選ぶ
- ✓ 子どもが使用・視聴している様子を気にかける
- ✓ 使用・視聴時間を決めるよう声をかける
- ✓ 子どもが難しいことに取り組めるよう支援する
- 母親サポート3群: 「子どもが使用・視聴するものを親が選ぶ」「子どもが使用・視聴している様子を気にかける」「子どもが使用・視聴している内容に即し て話しかける|「子どもと一緒に使用・視聴する|「使用・視聴時間を決めるよう声をかける|「知らないことが出てきた時に一緒に調べ る」「子どもが難しいことに取り組めるよう支援する」の7項目を得点化して足しあげ、高群・中群・低群の3群に分割。
- **レジリエンス得点**:レジリエンスに関わる17項目(PMK-CYRM-R尺度を使用、「まったくあてはまらない」1点~「とてもあてはまる」5点)を合計して、 項目数で割った数値(1~5点に分布)。上記では各群(母親サポート高中低)の平均点を算出した。



Q 2-2-② レジリエンスの育成に効果的な園(保育者)の関わり



- ●園(保育者)のサポート度合いが高いほど、子どものレジリエンス得点は高い
- ●下記は日本5歳データの分析結果



子どもの レジリエンス育成に 特に効果的な項目

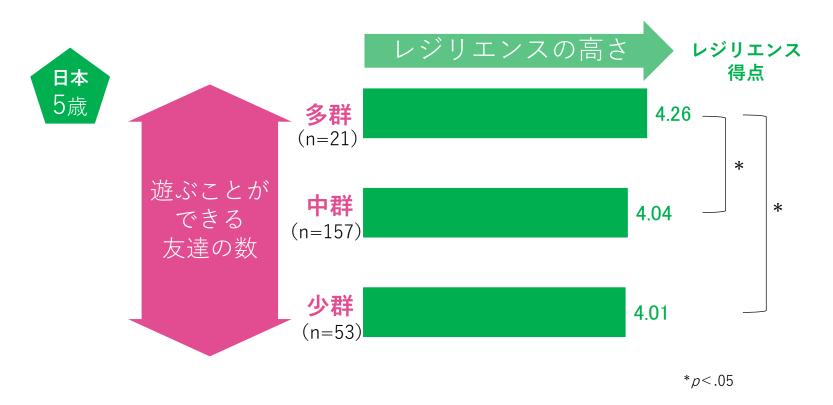
- ✔ 保育者/先生は子どものことを気にかけてくれている
- ✓ 子育てについて相談できる保育者/先生がいる
- ・ **保育者のサポート3群:**「保育者/先生の子どもへの言葉かけや関わり方が温かい」「保育者/先生は子どもの気持ちを尊重している」「保育者/先生は子どもの ことを気にかけてくれている」「保育者/先生はあなた(母親)のことを気にかけてくれている」「子育てについて相談できる保育者/ 先生がいる」の5項目を得点化して足しあげ、高群・中群・低群の3群に分割。
- レジリエンス得点:レジリエンスに関わる17項目(PMK-CYRM-R尺度を使用、「まったくあてはまらない」1点~「とてもあてはまる」5点)を合計して、項目 数で割った数値(1~5点に分布)。上記では各群(保育者のサポート高中低)の平均点を算出した。







- ●遊ぶことができる友達の数が多いほど、子どものレジリエンス得点は高い
- ●下記は日本5歳データの分析結果



- 遊ぶ友だちの数3群:「お子様には遊ぶことができる友達は、どのくらいいますか?(1つ選択)」という1項目に対し、「4.5人以上」を多群、「3.3~4人」を 中群、「2.1~2人」および「1.いない(0人)」を少群として3群に分割。
- レジリエンス得点: レジリエンスに関わる17項目(PMK-CYRM-R尺度を使用、「まったくあてはまらない」1点~「とてもあてはまる」5点)を合計して、項目数で割った数値(1~5点に分布)。上記では各群(遊ぶ友達の数多中少)の平均点を算出した。



■ ② 2-3 レジリエンスに関連する項目のアジア諸国での状況 RESI



●日本5歳でレジリエンスの育成に効果的な要因は、他のアジア諸国でも効果的で ある

5歳	

▶日本5歳でレジリエンスに関連する項目についての、アジア諸国での状況 (各国にて子どものレジリエンスに関連する項目に〇)

	日本	中国	フィリ ピン	マレー シア	台湾	インド ネシア	シンガ ポール	タイ
①母親の応答的な養育態度	0				0	0	0	0
②母親の子育て肯定感	0				0	0		0
③園(保育者)のサポート	0	0				0	0	0
④デジタルメディア使用時の母親のサポート	0			0	0	0		
⑤遊べる友達の数	0					0		

上記①~⑤は、日本5歳でレジリエンスとの相関が強い順に並んでいる。①がもっとも強い。



3. アジア8か国比較を通して見える 日本の子どもや子育ての特徴

3章のサマリー



●母親の養育態度・意識

- ・日本の母親は「感情にまかせてしかる」「何か失敗するときつくせめる」比率が低い→p.21
- 日本の母親は5歳時点では数や文字を学ぶことをあまり重視せず、7歳では重視する傾向。 また日本の母親は、友だちと一緒に遊ぶこと、伝統や文化を大切にすることを 他国ほど重視していない→p.23
- 日本の母親の生活満足度は、高くも低くもない→p.25

●子育てサポート

- ・ 日本は配偶者によるサポートが少ない傾向→p.27
- ・ 学校の先生による母親サポートが、日本は他国と比べて少ない傾向→p.30

●子どもの日常生活・遊び・デジタルメディア活用

- ・日本は、平日の「屋外で遊ぶ時間」「家庭学習の時間」「家庭でのスマホやタブレットの 視聴・使用時間」が、他国より短い→p.31-34
- 日本5歳は習い事の機会が他国より少なく、日本7歳は他国より多い→p.35
- ・ 日本5歳は親とよく遊ぶが、7歳はあまり親と遊ばない→p.36
- ・ 日本はデジタルメディアを多用途で使わない。5歳では学習利用が少ない傾向→p.37
- ・ デジタルメディア使用時の親の関わりが、日本では他国と比べて少ない傾向→p.39
- ・子どもの学習のためのデジタルメディア使用への抵抗感は、日本の母親は他国より低い傾向 →p.43

<注意点>

本章では日本と他国との違いが見られた質問項目を抜粋して回答傾向を紹介しています。全データの詳細は、「集計表」にてご確認ください。

※集計表はこちら→ https://www.blog.crn.or.jp/crna-research-activities.html

母親の養育態度(1)



(%)



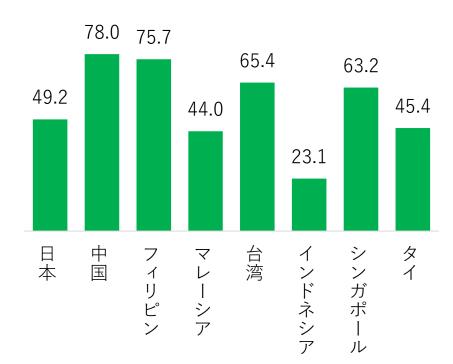
●日本の母親は「感情にまかせてしかる」「何か失敗するときつくせめる」 比率が低い

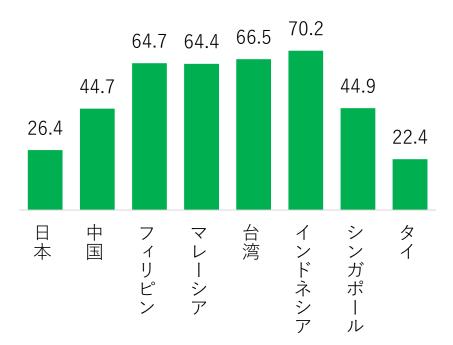
◆現在、対象のお子様へのあなたの関わりについて、以下のことはどれくらいあてはまりますか。

(%)

感情にまかせてしかる

何か失敗するときつくせめる





※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%

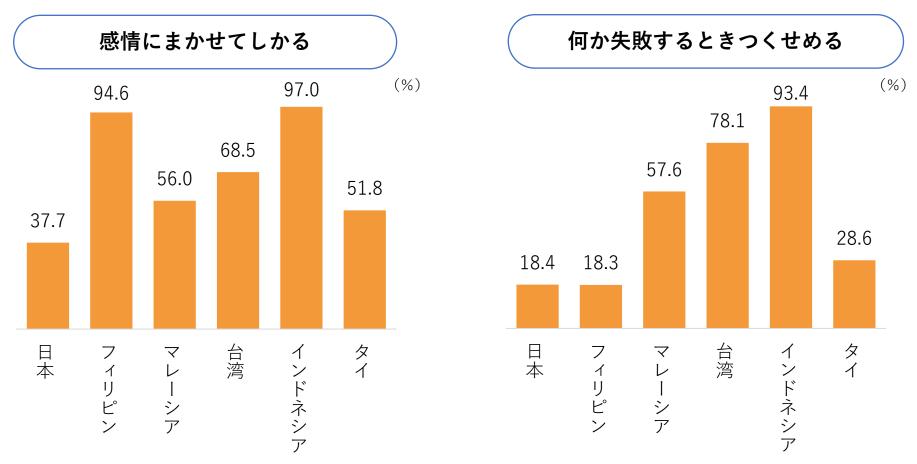
Q 3-1

母親の養育態度(2)





- ●日本の母親は「感情にまかせてしかる」「何か失敗するときつくせめる」 比率が低い
- ◆現在、対象のお子様へのあなたの関わりについて、以下のことはどれくらいあてはまりますか。



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%

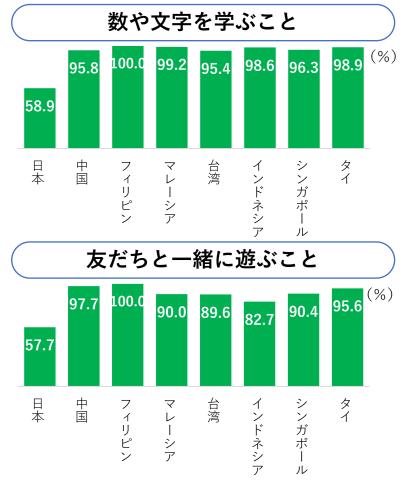


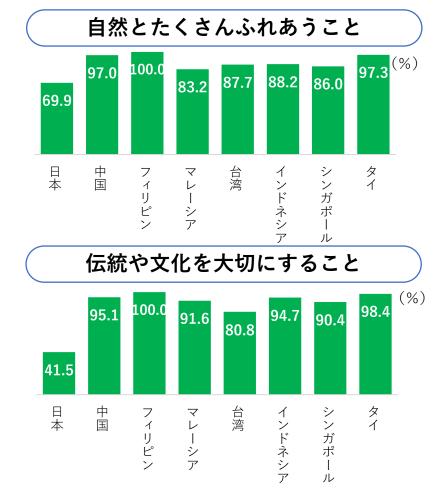
母親が子育てで力を入れていること(1)





- ●日本の母親は、数や文字を学ぶこと、友だちと一緒に遊ぶこと、伝統や文化 を大切にすることなどを他国ほど重視していない
- ◆あなたはどのようなことに力を入れて対象のお子様を育てていますか。





※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%



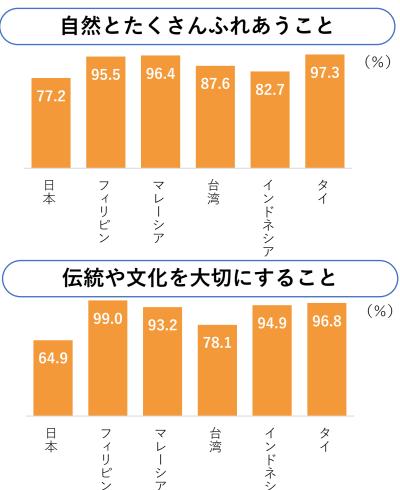
母親が子育てで力を入れていること(2)





- ●日本の母親は、友だちと一緒に遊ぶこと、伝統や文化を大切にすることなど を他国ほど重視していない
- ◆あなたはどのようなことに力を入れて対象のお子様を育てていますか。





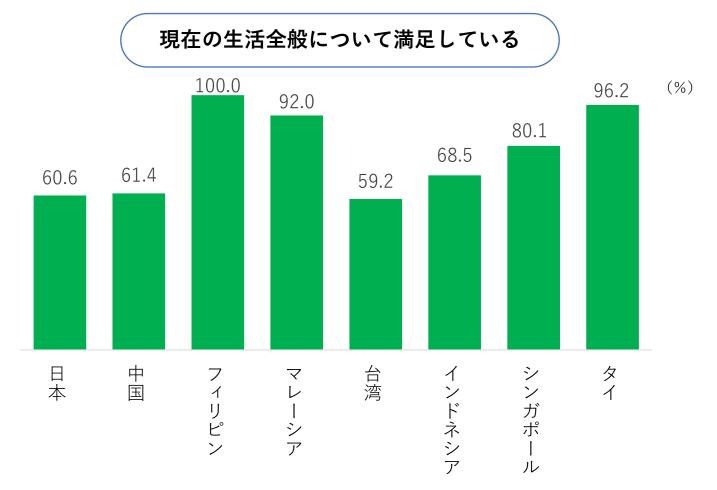


母親の生活満足度(1)





- ●日本の母親の生活満足度は、中国や台湾と同水準である
- ◆あなたの現在の生活についてお答えください。



※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%

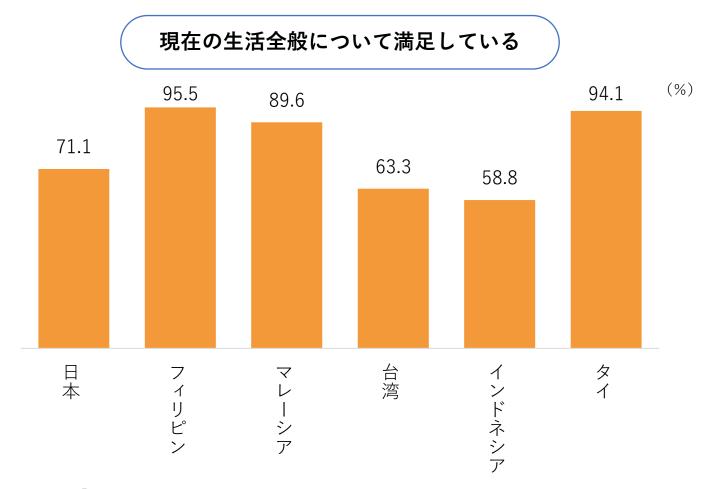


母親の生活満足度(2)





- ●日本の母親の生活満足度は、他国と比べて中くらいである
- ◆あなたの現在の生活についてお答えください。



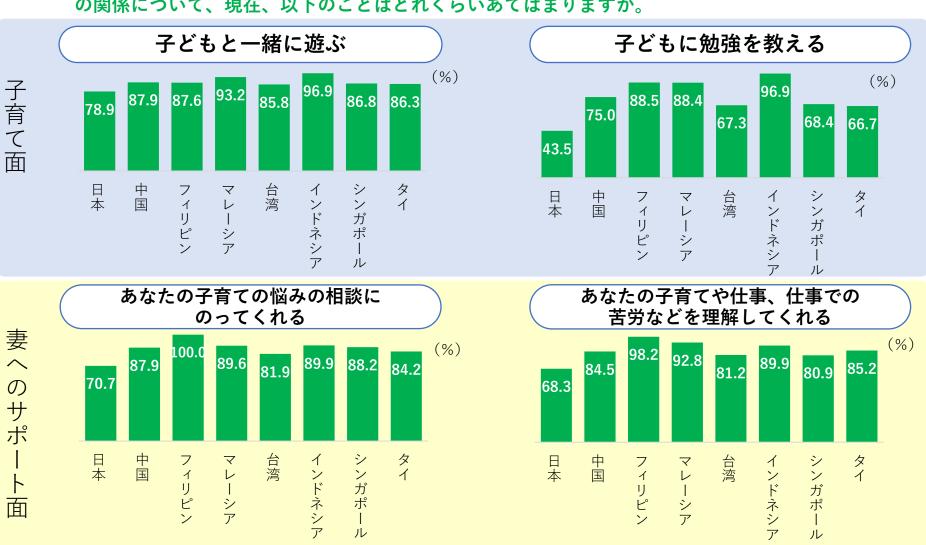


配偶者によるサポート(1)





- ●日本は配偶者によるサポート(子育て面&妻へのサポート面)が少ない傾向
- ◆あなたの配偶者・パートナーと対象のお子様との関係、またあなたの配偶者・パートナーとあなたと の関係について、現在、以下のことはどれくらいあてはまりますか。





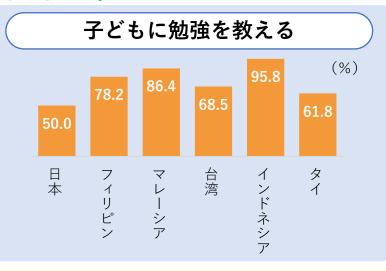
配偶者によるサポート(2)

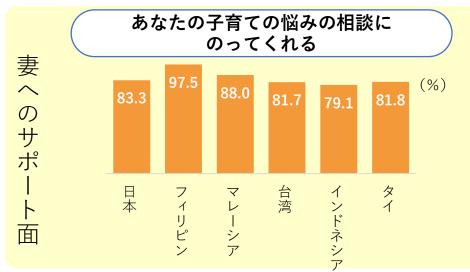


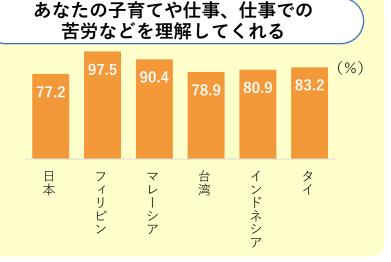


- ●日本は配偶者によるサポート(子育て面)が少ない傾向
- ◆あなたの配偶者・パートナーと対象のお子様との関係、またあなたの配偶者・パートナーとあなたと の関係について、現在、以下のことはどれくらいあてはまりますか。







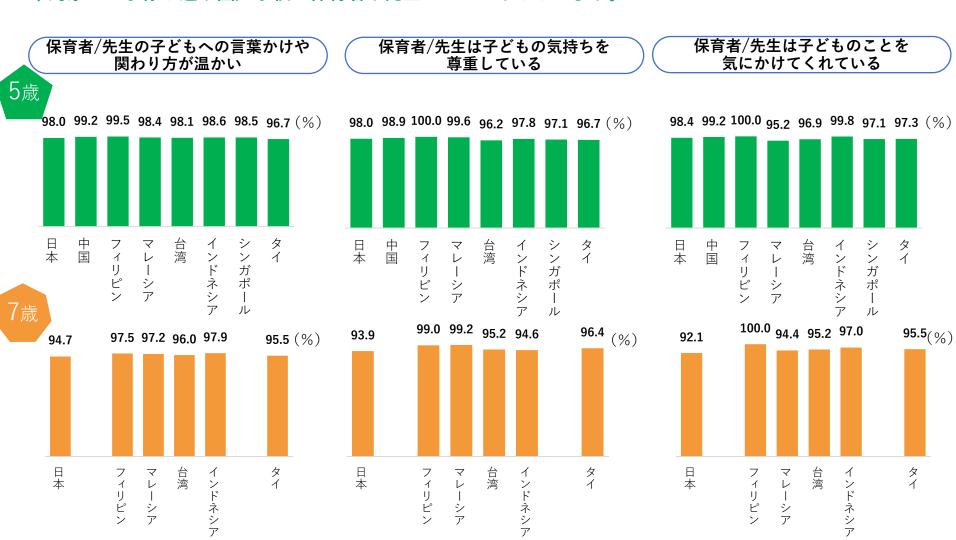




園や学校による子どもへの関わり



- ●日本では他国と同様に、園や学校の先生からの子どもへの関わりは十分である
- ◆対象のお子様が通う園/学校の保育者や先生についてうかがいます。

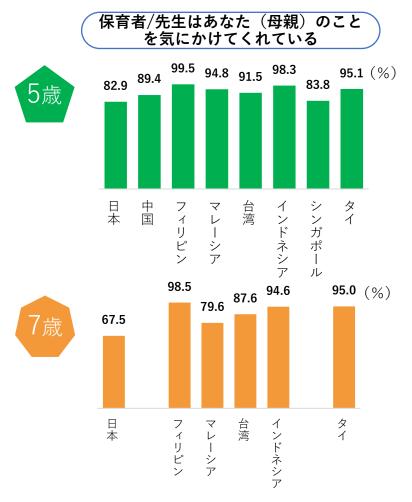


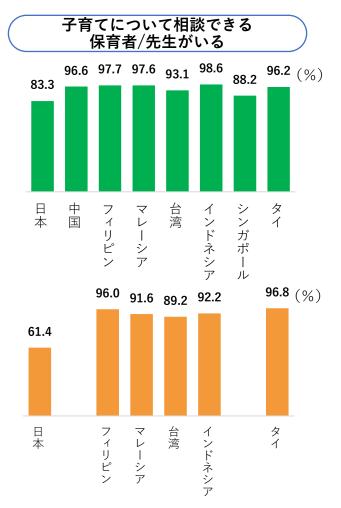


□ 3-5-② 園や学校による母親へのサポート



- ▶母親へのサポートについて、日本では園(保育者)からのサポート(5歳)は 得られているが、学校(先生)からのサポート(7歳)は他国と比べて少ない
- ◆対象のお子様が通う園/学校の保育者や先生についてうかがいます。





※「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%



■ 3-6【日常生活】平日に屋外で自由に遊ぶ時間(園・学校等を除く) RESEA



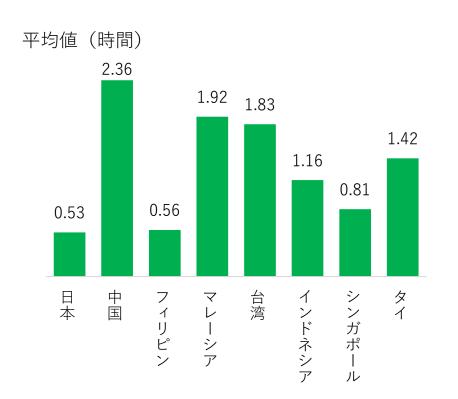
◆お子様は、屋外で自由に遊ぶ時間(園や学校、習い事を除く)がどれくらいありますか? この1週間の間の平日1日における大体の時間をお答えください。



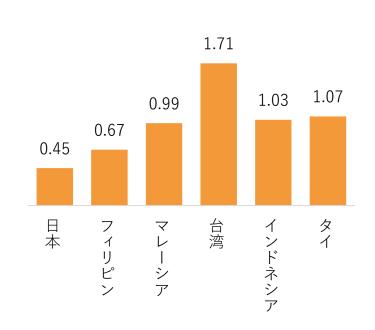
●日本は他のアジア諸国より短い



●日本は他のアジア諸国より短い



平均值 (時間)



[※]平均時間は「ない」を「0時間」、「30分くらい」を「0.5時間」、「1時間くらい」を「1時間」、「3時間くらい」を「3時間」、 「4時間以上」を「4時間」などと置き換えて、「無回答・不明」を除外した上で算出。

■ 3-7 【日常生活】平日の家庭学習の時間(通信教育含む)



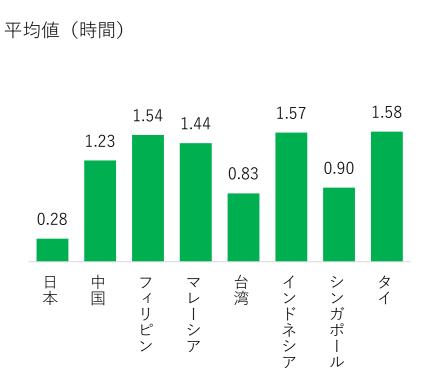
◆お子様は、家庭学習の時間(通信教育含む)がどれくらいありますか? この1週間の間の平日1日における大体の時間をお答えください。

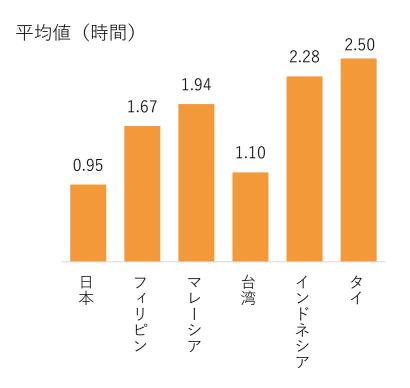


●日本は他のアジア諸国より短い



●日本は他のアジア諸国より短い





[※]平均時間は「ない」を「0時間」、「30分くらい」を「0.5時間」、「1時間くらい」を「1時間」、「3時間くらい」を「3時間」、 「4時間以上」を「4時間」などと置き換えて、「無回答・不明」を除外した上で算出。

■ ② 3-8 【日常生活】平日の家庭でのスマホの視聴・使用時間



◆お子様は、家庭でのスマホの視聴・使用時間がどれくらいありますか? この1週間の間の平日1日における大体の時間をお答えください。

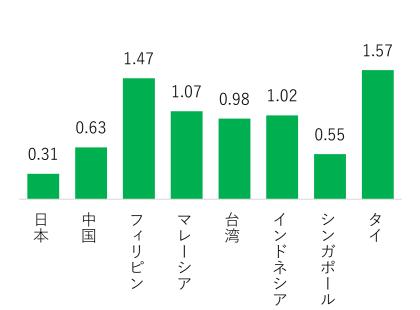


●日本は他のアジア諸国より短い

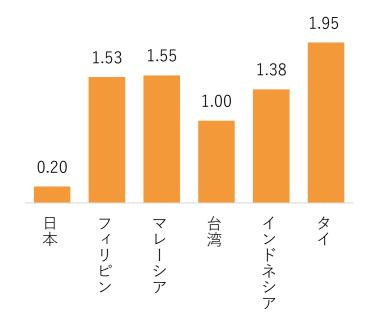


●日本は他のアジア諸国より短い

平均值 (時間)



平均值 (時間)



[※]平均時間は「ない」を「0時間」、「30分くらい」を「0.5時間」、「1時間くらい」を「1時間」、「3時間くらい」を「3時間」、 「4時間以上」を「4時間」などと置き換えて、「無回答・不明」を除外した上で算出。

■ 3-9 【日常生活】平日の家庭でのタブレットの視聴・使用時間



◆お子様は、家庭でのタブレットの視聴・使用時間がどれくらいありますか? この1週間の間の平日1日における大体の時間をお答えください。



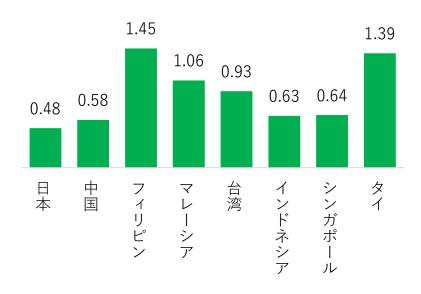
●日本は他のアジア諸国より短い

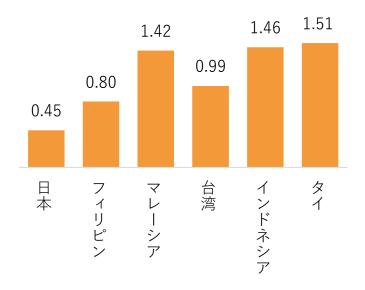


●日本は他のアジア諸国より短い

平均值 (時間)

平均值 (時間)





[※]平均時間は「ない」を「0時間」、「30分くらい」を「0.5時間」、「1時間くらい」を「1時間」、「3時間くらい」を「3時間」、 「4時間以上」を「4時間」などと置き換えて、「無回答・不明」を除外した上で算出。

■ 3-10 【日常生活】この1週間での習い事の機会



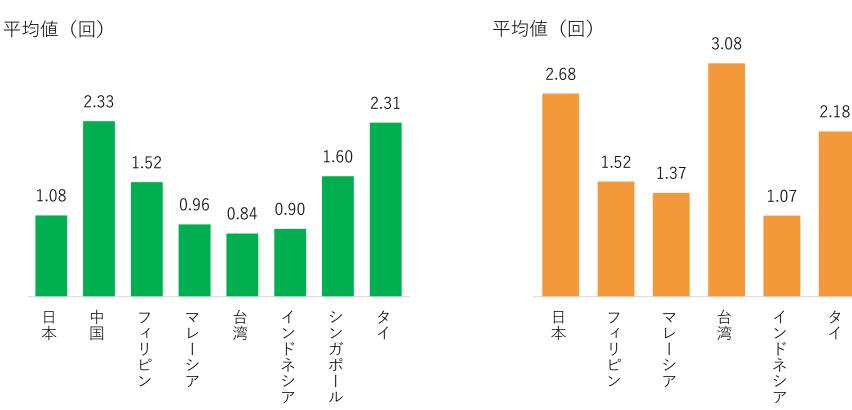
◆お子様は、習い事の機会がどれくらいありますか? この1週間の間の回数をお答えください。



●日本は少ない方。他の3か国と同等



●日本は多い方



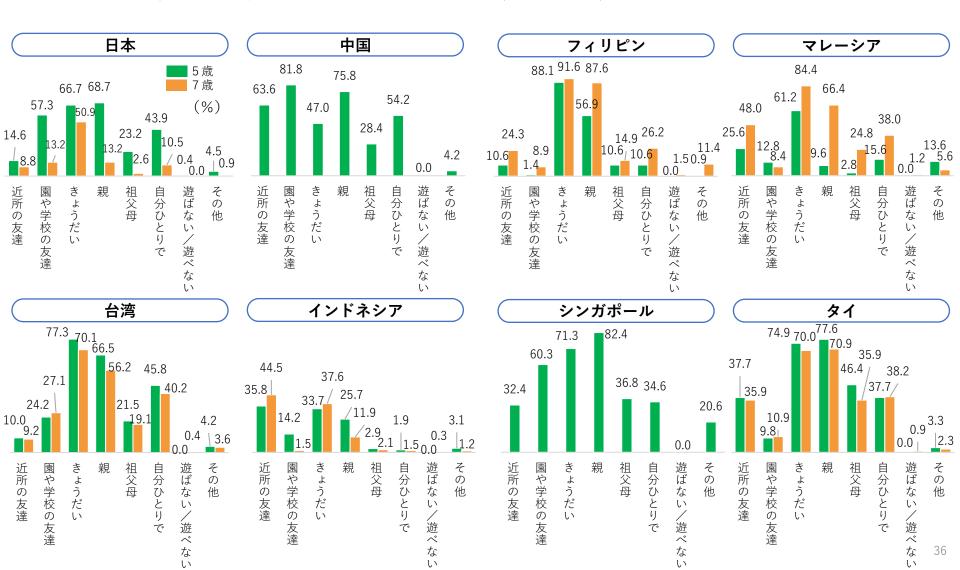
[※]平均回数は「ない」を「0回」、「1回」を「1回」、「4回」を「4回」、「5回以上」を「5回」などと置き換えて、「無回答・ 不明」を除外した上で算出。

遊び相手





- ●日本では園や学校の友達や親との遊びが、5歳は多い。7歳は少ない
- **◆お子様は、誰とよく遊んでいますか?**(複数選択可)





② 3-12 **子どものデジタルメディア使用用途・頻度(1**)



- ●日本ではデジタルメディアを多用途で使わない傾向
- ●他国では学習利用も行われているが、日本ではあまりない
- ◆対象のお子様は、タブレット端末、スマートフォン、パソコンなどのデジタルメディアで以下の ことをどれくらいの頻度でしていますか?
- 「トノオス」」「時々オス」の値が6.0%以上だった項目数と項目夕 (2.77項目中)

日本	中国	る」の値か50 フィリピン	マレーシア	台湾	インドネシア	シンガポール	タイ
5項目	7項目	13項目	2 項目	2項目	11項目	9項目	14項目
・動画を視聴する	・本・絵本を読む(電子 書籍含む)	・動画を視聴する	・通話やメール、SNSを する	・動画を視聴する	・写真を撮影する	・動画を視聴する	・動画を視聴する
・文字や数遊びをする	・外国語学習を楽しむ	・写真を撮影する	・テレビ電話などの遠隔 通話をする	・音楽を聴く	・文字や数遊びをする	・文字や数遊びをする	・写真を撮影する
・本・絵本を読む(電子 書籍含む)	・音楽を聴く	・文字や数遊びをする			・本・絵本を読む(電子 書籍含む)	・本・絵本を読む(電子 書籍含む)	・文字や数遊びをする
・お絵描きをする (塗り 絵を含む)	・園や学校の宿題をする	・本・絵本を読む(電子 書籍含む)			・お絵描きをする (塗り 絵を含む)	・お絵描きをする (塗り 絵を含む)	・本・絵本を読む(電子 書籍含む)
・音楽を聴く	・園や学校の宿題以外の 勉強をする	絵を含む)			・音楽を聴く	・音楽を聴く	・お絵描きをする (塗り 絵を含む)
	・オンライン授業を受け る(園、学校、習い事 を含む)				・身体を動かせるような プログラムを楽しむ	・身体を動かせるような プログラムを楽しむ	・音楽を聴く
	・園、学校や習い事、塾 等から配信されるプロ グラムを視聴する	・身体を動かせるような プログラムを楽しむ			・通話やメール、SNSを する	・ゲームをする	・身体を動かせるような プログラムを楽しむ
L		・ゲームをする			・園や学校の宿題以外の 勉強をする	・園や学校の宿題以外の 勉強をする	・ゲームをする
		・情報を検索する(勉強を含む)			る(園、学校、習い事 を含む)	を含む)	・通話やメール、SNSを する
		・園や学校の宿題をする			・園、学校や習い事、塾 等から配信されるプロ グラムを視聴する		・園や学校の宿題をする
		・オンライン授業を受け る(園、学校、習い事 を含む)			・テレビ電話などの遠隔 通話をする		・園や学校の宿題以外の 勉強をする
		・園、学校や習い事、塾 等から配信されるプロ グラムを視聴する					・オンライン授業を受ける(園、学校、習い事を含む)
		・テレビ電話などの遠隔 通話をする					・園、学校や習い事、塾 等から配信されるプロ グラムを視聴する
							・テレビ電話などの遠隔通話をする



② 3-12 **子どものデジタルメディア使用用途・頻度(2)**





- ●日本ではデジタルメディアを多用途で使わない傾向
- ●5歳で少ない学習利用が、7歳ではなされている

テレビ電話などの遠隔通話をする

- ◆対象のお子様は、タブレット端末、スマートフォン、パソコンなどのデジタルメディアで以下の ことをどれくらいの頻度でしていますか?

	- 「時々する」の値	•			—
日本	フィリピン	マレーシア	台湾	インドネシア	タイ
8項目	17項目	11項目	2項目	12項目	14項目
・動画を視聴する	・動画を視聴する	・動画を視聴する	・オンライン授業を受ける(園、 学校、習い事を含む)	・写真を撮影する	・動画を視聴する
・写真を撮影する	・写真を撮影する	・文字や数遊びをする	・園、学校や習い事、塾等から配信 されるプログラムを視聴する	・文字や数遊びをする	・写真を撮影する
・文字や数遊びをする	・文字や数遊びをする	・お絵描きをする(塗り絵を含む)		・本・絵本を読む(電子書籍含む)	・文字や数遊びをする
・本・絵本を読む(電子書籍含む)	・本・絵本を読む(電子書籍含む)	・音楽を聴く		・お絵描きをする(塗り絵を含む)	・本・絵本を読む(電子書籍含む)
・お絵描きをする(塗り絵を含む)	・外国語学習を楽しむ	・身体を動かせるようなプログラム を楽しむ		・音楽を聴く	・お絵描きをする(塗り絵を含む)
・音楽を聴く	・お絵描きをする(塗り絵を含む)	・ゲームをする		・通話やメール、SNSをする	・音楽を聴く
・園や学校の宿題をする	・音楽を聴く	・園や学校の宿題をする		・情報を検索する(勉強を含む)	・ゲームをする
・園や学校の宿題以外の勉強をする	・身体を動かせるようなプログラム を楽しむ	・園や学校の宿題以外の勉強をする		・園や学校の宿題をする	・通話やメール、SNSをする
	・ゲームをする	・オンライン授業を受ける(園、 学校、習い事を含む)		・園や学校の宿題以外の勉強をする	・情報を検索する(勉強を含む)
	・通話やメール、SNSをする	・園、学校や習い事、塾等から配信 されるプログラムを視聴する		・オンライン授業を受ける(園、 学校、習い事を含む)	・園や学校の宿題をする
	・ニュースを見る	・テレビ電話などの遠隔通話をする		・園、学校や習い事、塾等から配信 されるプログラムを視聴する	・園や学校の宿題以外の勉強をする
	・情報を検索する(勉強を含む)			・テレビ電話などの遠隔通話をする	・オンライン授業を受ける(園、 学校、習い事を含む)
	・園や学校の宿題をする				・園、学校や習い事、塾等から配信 されるプログラムを視聴する
	・園や学校の宿題以外の勉強をする				・テレビ電話などの遠隔通話をする
	・オンライン授業を受ける(園、 学校、習い事を含む)				
	・園、学校や習い事、塾等から配信 されるプログラムを視聴する				



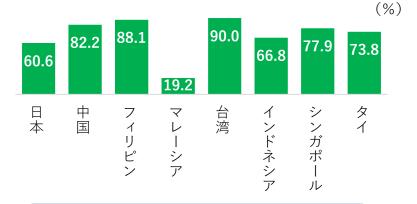
3-13 子どものデジタルメディア使用時の母親の関わり(1)



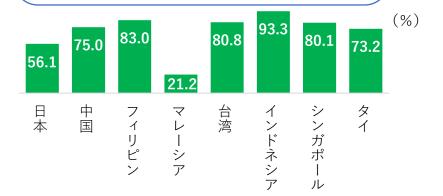


- ●日本では母親の関わりが少ない傾向にある
- ◆対象のお子様のデジタルメディアの使用・視聴時の使い方とあなたの関わり方についてあてはまる ものを選択してください。

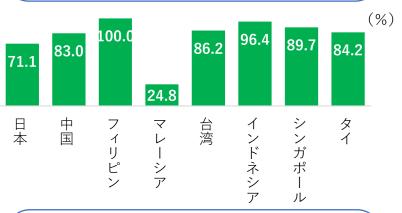
子どもが使用・視聴するものを親が選ぶ



子どもと一緒に使用・視聴する



子どもが使用・視聴している内容に 即して話しかける



子どもが難しいことに取り組めるよう 支援する





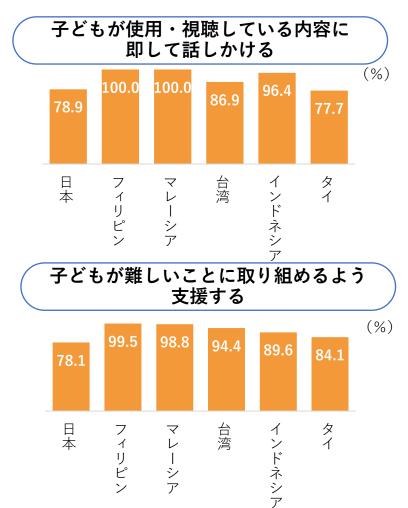
□ 3-13 子どものデジタルメディア使用時の母親の関わり(2)





- ●日本では母親の関わりが少ない傾向にある
- ◆対象のお子様のデジタルメディアの使用・視聴時の使い方とあなたの関わり方についてあてはまる ものを選択してください。





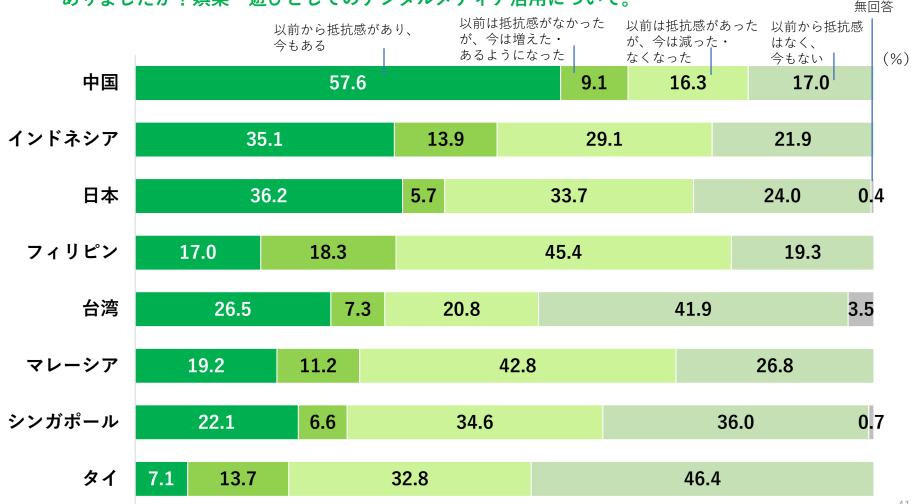


■ 3-14 子どものデジタルメディア使用への抵抗感の変化: 娯楽・遊びとして(1)





- ●日本の母親の娯楽・遊び使用への抵抗感は、他国と比べて中くらい
- ●以前と比べて抵抗感が減った層が、3割程度
- ◆コロナ禍以前と比べて、対象のお子様のデジタルメディア活用に対するあなたの抵抗感に変化は ありましたか?娯楽・遊びとしてのデジタルメディア活用について。



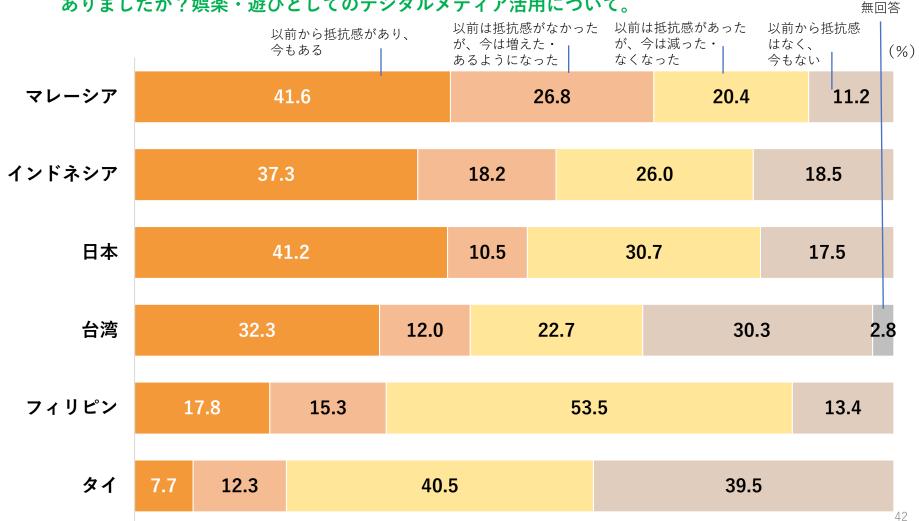


② 3-14 子どものデジタルメディア使用への抵抗感の変化: 娯楽・遊びとして(2)





- ●日本の母親の娯楽・遊び使用への抵抗感は、他国と比べて中くらい
- ●以前と比べて抵抗感が減った層が、3割程度
- ◆コロナ禍以前と比べて、対象のお子様のデジタルメディア活用に対するあなたの抵抗感に変化は ありましたか?娯楽・遊びとしてのデジタルメディア活用について。

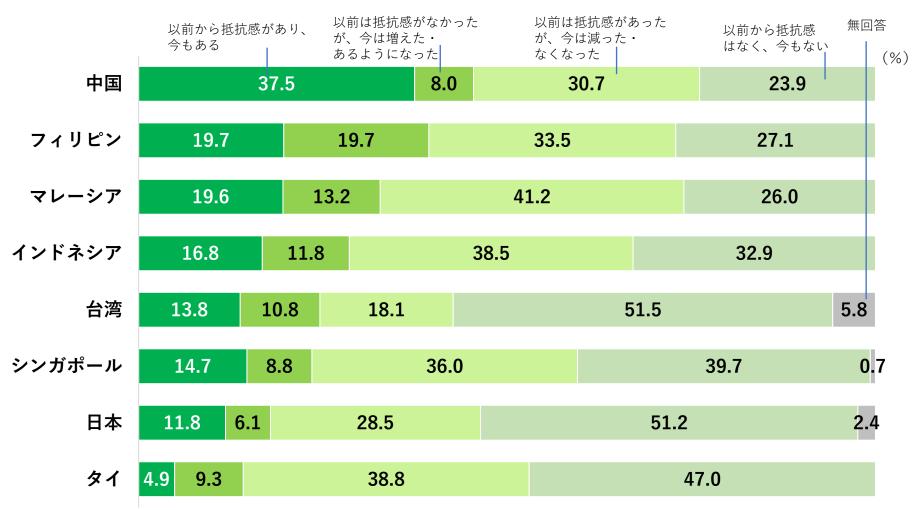








- ●日本の母親の学習使用への抵抗感は、他国と比べて低い
- ◆コロナ禍以前と比べて、対象のお子様のデジタルメディア活用に対するあなたの抵抗感に変化は ありましたか?学習のためのデジタルメディア活用について。



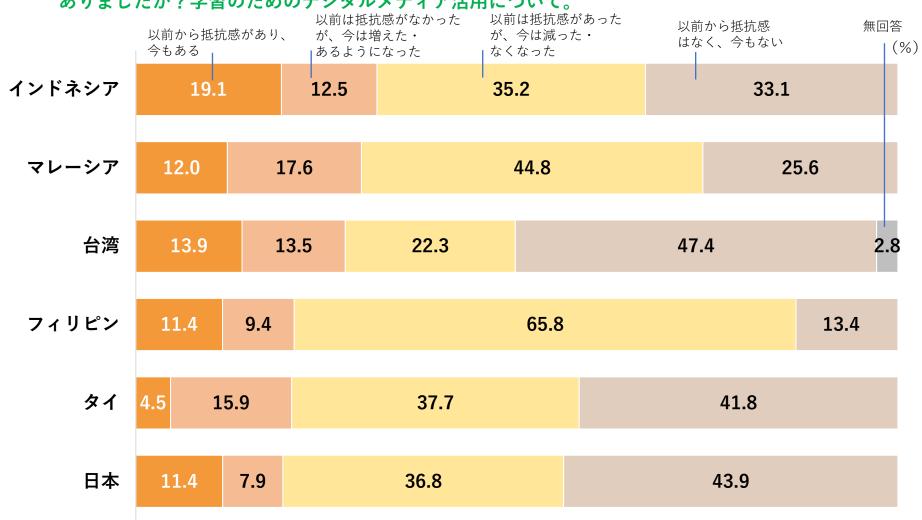








- ●日本の母親の学習使用への抵抗感は、他国と比べて低い
- ◆コロナ禍以前と比べて、対象のお子様のデジタルメディア活用に対するあなたの抵抗感に変化は ありましたか?学習のためのデジタルメディア活用について。





Appendix 基本属性

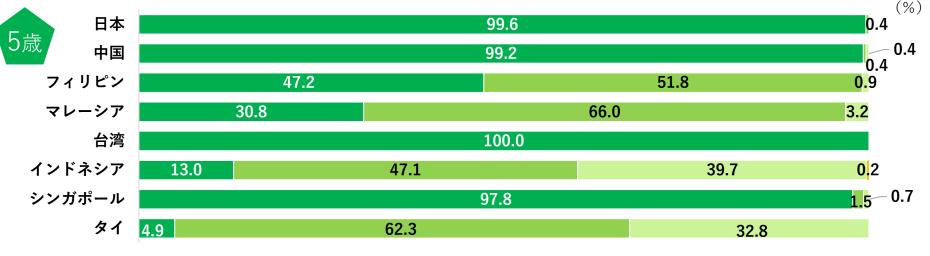


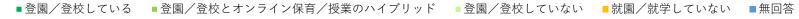
対象児の登園/登校状況

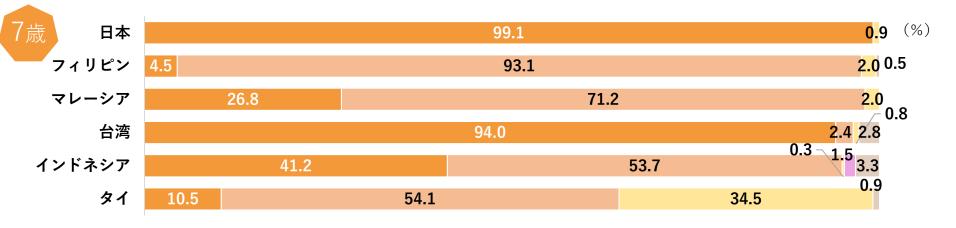


●日本・中国・台湾・シンガポールは、通常通り登園/登校している。 その他の国はオンラインとのハイブリッドも多い











対象児の1日あたりの 平均睡眠時間:平均値比較



◆対象のお子様の1日あたりの平均睡眠時間(昼寝を含む)についてうかがいます。

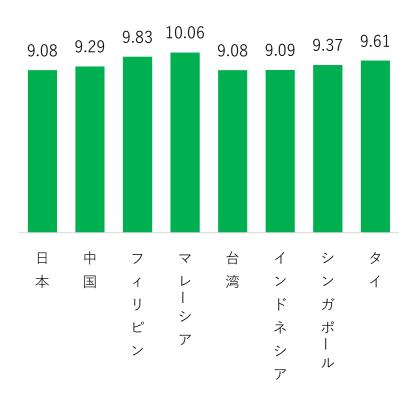


●日本はもっとも短い国のひとつ

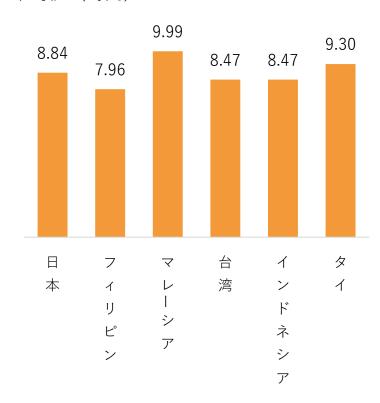


●日本は中くらい

平均值 (時間)



平均值 (時間)



[※]平均睡眠時間は「6時間未満」を「5.5時間」、「6時間以上7時間未満」を「6.5時間」、「11時間以上12時間未満」を「11.5時間」、 「12時間以上」を「12.5時間」などと置き換えて、「無回答・不明」を除外した上で算出。



回答者(母親)の職業



- ●日本5歳は仕事をもつ母親が8割以上
- ●日本7歳は仕事をもつ母親が約6割
- ◆あなたの現在のお仕事の就業形態を教えてください。

(%)

	日	日本		国	フィリピン		マレ-	-シア	台湾		インドネシア		シンガポール		タイ	
	5歳 (246)	7歳 (114)	5歳 (264)		5歳 (218)	7歳 (202)	5 歳 (250)	7歳 (250)	5歳 (260)	7歳 (251)	5歳 (416)	7歳 (335)	5歳 (136)		5歳 (183)	7歳 (220)
常勤職(正社員・正職 員)※テレワーク含む	55.3	21.1	62.9		87.6	45.0	33.6	36.0	46.9	58.6	17.3	21.2	72.1		38.8	40.9
パート・アルバイト	18.3	21.1	3.0		0.5	8.9	4.4	4.8	5.4	3.6	3.4	0.0	6.6		3.3	2.7
契約社員・派遣社員	4.9	7.9	6.8		0.0	0.5	1.6	4.0	1.5	1.6	3.6	0.3	0.0		7.1	5.9
内職	0.0	0.0	5.3		0.0	0.0	0.4	0.4	1.2	0.0	0.2	0.0	0.0		0.0	1.4
雇用主	0.0	0.0	0.4		0.0	0.0	1.6	2.8	0.8	0.4	11.1	0.0	0.7		1.6	0.0
自営業・家族従業	6.5	11.4	4.5		7.8	9.9	4.0	5.2	6.5	9.6	9.1	6.9	7.4		24.6	23.2
農林漁業	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	4.8	0.0	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0		0.5	0.9
学生	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.7		0.0	0.9
無職・主婦・主夫(家事に専念・家事専従)	13.0	37.7	12.9		1.4	32.7	48.4	44.0	31.5	20.3	47.1	71.0	8.8		15.8	16.4
その他	1.2	0.9	4.2		2.8	3.0	0.0	2.8	3.8	2.8	7.7	0.0	0.7		8.2	7.7
無回答	0.8	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.2	0.0	0.6	2.9		0.0	0.0

[※]カッコ内はサンプル数。

[※]中国とシンガポールでは7歳児調査を実施せず。



回答者(母親)の学歴



●日本5歳は7割弱、日本7歳は8割以上の母親が、高等教育を修了している

◆あなたが最後に卒業された学校を教えてください。

(%)

	日	本	中	中国		フィリピン		マレーシア		台湾		インドネシア		シンガポール		タイ	
	5歳 (246)	7歳 (114)	5歳 (264)		5 歳 (218)	7歳 (202)	5歳 (250)	7歳 (250)	5歳 (260)	7歳 (251)	5歳 (416)	7歳 (335)	5歳 (136)		5歳 (416)	7歳 (335)	
義務教育	2.0	0.0	1.5		6.4	1.0	1.2	4.0	3.5	5.6	9.6	17.9	2.9		19.1	21.8	
中等教育	28.0	15.8	5.7		0.0	16.8	62.8	59.2	32.3	27.1	34.6	58.5	14.0		24.6	20.5	
高等教育	67.9	83.3	92.4		93.6	69.3	35.2	36.8	63.5	66.5	55.0	23.6	72.8		54.6	55.9	
その他	0.8	0.9	0.4		0.0	12.4	0.8	0.0	0.0	0.4	0.7	0.0	8.8		1.6	1.4	
無回答	1.2	0.0	0.0		0.0	0.5	0.0	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	1.5		0.0	0.5	

[※]カッコ内はサンプル数。

<参考:高等教育総進学率(%)>

日本	中国	フィリピン	マレーシア	台湾	インドネシア	シンガポール	タイ
(2021)	(2021)	(2021)	(2020)	(2020: 修了率)	(2018)	(2019)	(2016)
83.8	57.8	35.5	42.6	47.3	36.3	91.1	49.3

国名	出典
JPN	https://www.mext.go.jp/content/20211222-mxt_chousa01-000019664- 1.pdf
CHN	https://english.www.gov.cn/statecouncil/ministries/202205/17/content_W S62833890c6d02e533532aca9.html#:~:text=BEJJING%20%E2%80%94%20T he%20gross%20enrollment%20rate,of%20Education%20on%20May%2017.
PHL	https://uis.unesco.org/country/PH
MYS	https://uis.unesco.org/country/MY
TWN	https://www.taiwan.gov.tw/content_9.php
IDN	http://uis.unesco.org/en/country/id
SGP	http://uis.unesco.org/country/SG
ТНА	http://uis.unesco.org/country/TH
	, <u> </u>

[※]中国とシンガポールでは7歳児調査を実施せず。

[※]実際の設問では、各国につき現地の教育機関名(教育段階)から回答を選択して もらった。その後各国と確認の上、上記の通りに区分した。





- ●日本は5歳も7歳も、約8割の世帯が「中位層」または「上位層」に属する。
- ◆世帯全体の年収(総支給額)はどれくらいですか。

(%)

	日	本	中	国	フィリ	ノピン	マレ-	-シア	台	湾	インド	ネシア	シンガ	ポール	タ	1
	5 歳 (246)	7歳 (114)	5 歳 (264)		5歳 (218)	7歳 (202)	5 歳 (250)	7歳 (250)	5 歳 (260)	7歳 (251)	5歳 (416)	7歳 (335)	5 歳 (136)		5 歳 (416)	7歳 (335)
下位層	10.2	3.5	37.9		3.7	22.3	76.0	68.4	29.2	23.5	19.7	30.4	37.5		43.7	37.7
中位層	38.6	31.6	37.9		96.3	77.2	12.8	16.8	43.1	51.0	21.2	14.9	18.4		37.7	39.5
上位層	38.6	50.0	10.2		0.0	0.5	11.2	14.8	4.6	9.6	15.9	6.9	19.9		15.3	17.3
わからない・ 回答したくない	11.0	14.9	14.0		0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	14.3	43.3	47.8	24.3		3.3	5.5
無回答	1.6	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	1.6	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0

[※]カッコ内はサンプル数。

[※]中国とシンガポールでは7歳児調査を実施せず。

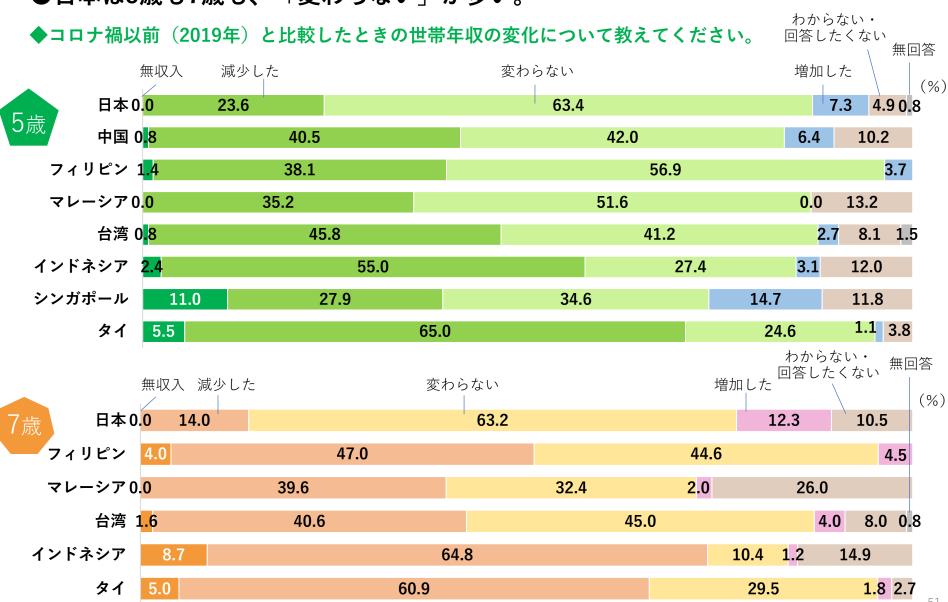
[※]実際の設問では、各国につき現地の通貨で示した選択肢から回答を選択してもらった。 その後各国と確認の上、上記の通りに区分した。



コロナ禍以前と比較したときの世帯年収の変化



●日本は5歳も7歳も、「変わらない」が多い。



【CRN国際共同研究】 子どもの生活に関するアジア8か国調査2021 結果報告

発行日	2022年12月31日						
発行	チャイルド・リサーチ・ネット(CRN) 〒206-0033 東京都多摩市落合1-34 ベネッセ教育総合研究所内						
編集人	榊原 洋一						
編集スタッフ	小川 淳子、持田 聖子、木村 治生、劉 愛萍、大森 英恵						
編集協力	神田 有希子						

チャイルド・リサーチ・ネット (CRN) は ベネッセ教育総合研究所の支援のもと運営されています。